

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：特別支援教育課
担当名：教育環境整備推進担当
内線：6889 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P29	自立と社会参加を目指す特別支援学校整備事業			一般会計	教育費	特別支援学校	特別支援教育振興費	ゆとりある障害児教育推進事業費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	学校教育法第72・76・80条			針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4
						分野施策	0503 多様なニーズに対応した教育の推進	SDGsターゲット	4-5, 4-a
1 事業の概要 特別支援学校における児童生徒増への対応を図るため、既存特別支援学校における教育環境整備を行う。 また、川口特別支援学校における増築棟供用開始に伴う物品整備を行う。 ア 既存特別支援学校の教育環境整備 △2,067千円 イ 川口特別支援学校増築棟供用開始に伴う物品整備 △3,907千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 既存特別支援学校の教育環境整備等 25,139千円 → 23,072千円 既存特別支援学校の児童生徒増に伴う経費等 イ 川口特別支援学校増築棟供用開始に伴う物品整備 41,454千円 → 37,547千円 令和8年度供用開始予定の増築棟への物品整備経費 (2) 事業計画 ア 既存特別支援学校の教育環境整備 既存特別支援学校の児童生徒増に対応するため教育環境整備等を行う。 イ 川口特別支援学校増築棟供用開始に伴う物品整備 令和8年度に供用開始される増築棟への物品整備を行う。 (3) 事業効果 児童生徒増への対応及び特別支援教育の充実を図る。 【活動指標(アウトプット)】 既存校の教育環境整備 【成果指標(アウトカム)】 教室変更・物品整備等により、教育環境が改善され、障害のある子供が適切な環境下で教育を受け、自立と社会参加の力を培われ、自己の能力を発揮できる社会が実現される。 (4) 補正予算の概要 節約による需用費等の減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×6.3人=59,850千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△5,974							△5,974	60,619
現計額	66,593							66,593	

事業内訳書

事業名	自立と社会参加を目指す特別支援学校整備事業		
単位事業名	知的障害特別支援学校の設置	予算額	△ 5,974千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△5,974	—	
合計	△5,974	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△19	—	節約による旅費の減
需用費	△5,955	—	節約による消耗品費の減
合計	△5,974	—	